

お知らせ&編集後記

ピア・カウンセリング公開講座

ピアとは、“仲間”または“対等な”という意味です。
ピア・カウンセリングとは同じような背景を持つ人同士が平等な立場で話を聞き合うことで、心を軽くしたり、自信を取り戻させたりするものです。今回は公開講座ですので障害者だけでなく、健常者も参加できます。本格的に話を聞き合い共感する体験をしてみませんか？

日時：11月22日(木) 10:00～16:00

場所：行田市教育文化センター みらい 第1学習室

参加費：500円(昼食持参) 定員：20名

参加を希望される方は“ひこうせん事務所”までお問い合わせ下さい。

(TEL:表紙参照)



クリスマス会のお知らせ

今年のクリスマス会を教育文化センター(みらい)で行います。

日時：12月4日(土) 8時

~~13:00～15:00~~まで 14:00～16:00

会場：教育文化センター みらい(第1学習室)

会費：1000円

みなさんのご参加をお待ちしています。



編集後記

大塚 則幸

ひこうせん通信14号から担当になりました。大塚です。宜しくお願いします。
ひこうせんに入ったのは、2年半ほど前です。その前は、私は施設にいました。そこから出て自立して仕事をしたいと考えていました。そんな時、田島さんの紹介で木村さんが自立した生活ホームを作っていると知り、そこに入って生活することを決めました。また、こうして私が仕事を出来るようになったのは、ひこうせんのおかげと考えております。本当に感謝しています。今回初めてひこうせん通信を作成しましたが、介助者の手伝いもあって終わってみれば、あっという間だったというのが素直な感想です。これからもう一生懸命仕事に携わっていきますので、宜しくお願いします。



ひこうせん通信 No.14

2007年10月15日発行

編集・発行：NPO法人CILひこうせん

住所：〒361-0071 埼玉県行田市栄町22-5

電話：048-555-1100

FAX：048-555-1301

E-mail: hikousen@tv.ne.jp

ホームページ: <http://www.tv.ne.jp/cil-hikousen>



現代社会における社会保障のあり方

理事長 木村 浩章

今年の夏は、熊谷市で日本観測史上最高の40.9度を記録し、猛暑より酷暑の夏になりました。この暑さで体調も崩された方が多かったと思います。

さて、今年の春から年金問題や金と政治の問題、そして、突然の安倍総理の辞任と政局は毎日変化をし、混乱しています。特に年金や医療保険等の社会保障が崩壊寸前な状況です。国民にとって一番大事な社会保障が安定をさせるような施策をつくるのが国の責任ではないのでしょうか。また、障害者施策のことに限れば、障害者自立支援法の目的の一つに就労支援があります。

今までの社会保障は、年金や医療保険等の行政から手当てを中心とした施策が多かったです。勿論、従来の施策の為に財源確保も大事ですが、就労支援も含めた社会保障のシステムづくりが最も重要だと私は考えます。

その為には、このような考えを多くの人と共有し、社会に訴えかけることが大切です。

障害の有無を問わず、誰もが安心して暮らせる社会になるように皆さん一緒に頑張りましょう。

結婚報告



平成19年6月3日に大塚則幸さんと和江さん(旧姓高橋)が結婚しました。
行田市教育文化センターみらいで、則幸&和江の結婚を祝う会が行われました。
私達ふたりは、結婚をしました。ひこうせんのスタッフには結婚に至るまで真剣に色々な事をしてくれたことに本当に感謝しております。ありがとうございました。



結婚生活について

大塚 則幸

結婚した今、私達ふたりは、なかまの家の二部屋で生活をしています。本当に、齋藤貴美子さんがふたりを逢わせてくれたことを感謝しています。なかまの家のみんなにも感謝してます。喧嘩をちょいちょいしていますが、和江さんに逢えてよかったいつも思っています。僕の夢は、早く和江さんが僕の言葉を理解してくれることです。もう一つの夢は、県営住宅に入って暮らすことです。その時もヘルパーさんにお世話をしてもらいたいと思っています。

大塚 和江

まだ、生活し始めたばかりで、わからないことがあります。これからは彼の足とまでは出来ないけど、口となり言いたい事をフォローしていきたいと思っています。これからも、私達を宜しくお願いします。



ILP講座

講座期間：平成19年6月6日～7月11日毎週水曜日(全6回)

場所：みらい(第1回、第2回、第5回)、事務所(第3回、6回)、
Viva行田(第4回)

受講者：荒金亜美、大塚和江、金子昌代、清瀬康太、冨田有美子、
原口めぐみ、類地亜希子(計7名)

講座の日程：6/6(水)第1回メイク講座
6/13(水)第2回健康管理講座
6/20(水)第3回買い物講座
6/27(水)第4回料理講座
7/4(水)第5回金銭管理講座
7/11(水)第6回アシスタントの指示の仕方

今回のILP講座は、デイケア“こころ”のメンバーで行いました。デイケア“こころ”のメンバーは女性が多いため、女性の自立・障害者の結婚という観点からテーマを「花嫁修業」としました。内容としては化粧、健康管理、料理、金銭管理、アシスタントの指示の仕方など。将来、「夢」「希望」「自信」を持って生活を送れるための講座になりました。



第4回の料理講座では、第2回、3回の講義を活かして、料理を作りました。

今回はそれぞれの講座に講師を呼びました。日常生活においての具体的なこと。自分の食べたいものがあったら、買い物をして出来る範囲で作る。買い物をするにしても、まずお店で何を買うのか、お金は自分で管理していくらあるのか、自分で判断して指示を出すことがどういうことかを学びました。

好評だったのは、メイク講座と料理講座でした。ともに初体験だった受講者が多いこともあって、楽しかったという意見が多かったけど、私の考えでは理解出来ないことも多かったと思います。今後一人暮らしや、二人暮らしで生活するとき、今回の講座のことを思い出して生活してもらいたいです。

全体的に雰囲気良く楽しく学べたと思います。

是非この次もILP講座を開きたいと考えています。また、今回は花嫁修業というテーマだった為に女性向きなところもありましたが、次回はバランス良く講座を開きたいと考えています。受講者が多ければ多いほど楽しいものになると思いますので、たくさんの受講者をお待ちしております。



デイケアこころ通信

施設長 今泉 忍

デイケア「こころ」が南河原に移転して半年が過ぎました。もともとスリッパ工場であり、また元村長さんの家でもあるため、堂々とした佇まいです。

9月で上半期が過ぎようとしておりますが、この6ヶ月の間の活動としては、夏まではかたづけと掃除、様々なアート&クラフトの体験、浮き城祭りでのフリマ、8月には学童保育「きらきら」や教育委員会適応指導センター「ウイズ」とのカレーパーティーなど、地域や行政を巻き込んだイベントなど様々な活動を行いました。

また9月からは南河原の地域性をいかしたプラスチックのリサイクルといった新しい作業もスタートしました。

こうした活動をひとつひとつ書くと紙面が足りないため、下記の通り一覧を参考にいただければと思います。

新しい利用者様としては、7月には鴻巣市から大坪清貴さんが、8月には駒西町から梓澤倫見さんが加わり、現在17名です(まだ、2名空きがあるようによろしく)。

デイケア「こころ」では南河原以外に、車イスの利用者は、ひこうせん各部に所属し、パソコンを使った事務作業を中心にした作業を行っております。就労を視野において、管理や事務のプロをめざし、これからも作業してもらいたいと思います。

また、10月以降はニューズレターの発行や広報の強化、アート&クラフトの開発と販路拡大等々、ギャラリーでの作品展示など、利用者本人の可能性に対して、ヒントになるような仕事やプランを開発してゆきたいと考えております。

今後、デイケアがどういう形で発展してゆくのか？は、これからの私たちの活動と実績にかかっています。今年の夏の記録的な暑さも、デイケア利用者、スタッフ、そして支援してくれる関係者で力を合わせて乗り切りました。これからも「こころ丸」は、どんな大波も乗り切り、大海原へと進んでいくことを私は信じています。



8月27日さいたま市で「ちんどんパレード(仮装パレード)」に参加。



8月24日適応指導センター「ウイズ」図工教室とカレーパーティーを行いました。

＜南河原デイケアこころ 上半期実績＞

● 4月

新メンバー(水上、荒金、高橋、原口、類地、金子)を加えたデイケアスタート

＜イベント＞今泉「奈良たんぼの家」での見学

＜授産活動＞椎茸の販売、リサイクル作業、各種授産活動やアート活動の模索。

● 5月

南河原デイケアのかたづけと環境整備

＜イベント＞江南鬼の家、スワンペーカリー深谷店の見学、毎月の食事会開始

＜授産活動＞中央公民館みらいでの販売開始、花の寄せ植え、スリッパ材料でのアクセサリー制作、大塚結婚式用フラワーアレンジメント制作、毎月1回洗車作業開始

● 6月

外出レク開始(菖蒲ラベンダー祭)

＜イベント＞奈良たんぼの家見学報告会

＜授産活動＞寄せ植え、アクセサリーなどの手作り品、絵画等アート活動開始

● 7月

大坪清貴さんのデイケア加入

地域活動開始(南河原公民館、社会福祉協議会「やすらぎの里」でのレク、

地域のお祭り準備に参加など)

倉庫の解体と屋根補修開始～終了

工藤市長来訪

＜授産活動＞寄せ植え。浮き城まつりでのバザー。レストラン「ラ・セーヌ」での販売

● 8月

梓澤倫見さんのデイケア加入

倉庫の解体と屋根修理 終了

外出レク…市民プール(2回)

＜イベント＞学童保育「きらきら」との合同活動(カレーパーティー、図工教室)

適応指導センター「ウイズ」との合同活動(カレーパーティー、図工教室)

学童保育「きらきら」との合同活動(さいたま水族館への外出レク)

さいたま市での「ちんどんパレード」への参加(今泉、高橋、原口)

＜授産活動＞寄せ植え。市役所ロビーでの販売開始(月2回)

● 9月

＜授産活動＞ダンボール、アルミ缶リサイクルの強化、プラスチックリサイクル開始

平成19年度 事業部の

『企画開発部』

企画開発部長 鶴崎 明宏

まずは、お詫びからです。

年4回発行しているひこうせん通信ですが、今年はこちらの不手際で3回の発行になってしまいました。楽しみにしていた方、大変申し訳ございません。編集担当も替わり、皆様にたくさんの情報をお伝えしたいと思いますので、今後よろしくお願いいたします。

ひこうせんでは、10月より月50時間以上働いて頂いたアシスタントや職員の皆様に対して、感謝の気持ちを込めてクーポン券を発行することになりました。このクーポン券は、ひこうせんに関わって頂いている関係者のお店などで利用できるクーポン券ですので、皆さんご利用して下さい。詳しくは、ひこうせんレターでお知らせ致します。

『事業部』

生活の質(QOL)の向上をめざして

事業部長 木村 浩章

事業部は、生活ホーム「なかまの家」、レスパイト輪、デイケア「こころ」、学童クラブ「きらきら」共に埼玉県の県単独事業として、現在運営しています。しかし、埼玉県単独事業の補助金に対する考えは、県の財政も厳しいものがある為に障害者自立支援法の中に移行出来る事業は、統合していきたいとのことです。また、既にデイケア事業は、平成23年までに自立支援法の中の各種事業形態に移行しないとなりません。

ひこうせんでは、運営形態が変わってもその運営の許容範囲を最大限に生かして、各事業の利用者が現在の生活よりもQOLを高めるように運営していきたいと思っています。

その為に各事業が安定した運営が出来るような運営形態を選択したら、より有効か調査研究をしています。

「こころ」や「きらきら」では、各利用者の生活のQOLがより高められ、自立を目指すように個別支援計画を作成して、一人一人の利用者が自立できるような支援をしていきます。この個別支援計画は、ただ今、作成、検討中です。

活動経過報告

『総務部』

総務部からの報告
...事務の一元化をめざして

総務部長 齋藤 貴美子

今総務では、全ての会計処理を総務が管理できるよう、事務処理の一元化を目指して取り組んでいます。各事業の請求は各部門で実行していきますが、総務との連携や会計処理の情報共有を図れるよう解りやすい処理方法を取り入れていきます。

6月から蕪木さん、大坪さんにも総務の仕事を手伝っていただいています。

給与の支払い、利用料請求及び収納、物品の購入・支払い、など、円滑な事業推進に欠かせない心臓部の仕事です。できるだけ、効率的で正確な事務ができるよう目指していきます。

また、10月1日から事務所近くに新設される駐車場をお借りすることができ、これまでよりも、車での来所がスムーズに行えると思います。

これからも少しずつでも、仕事のしやすい環境づくりをやっていきます。

『派遣部』

派遣部部長 田島 隆宏

栄町の事務所も1年半を過ぎだんだんと落ち着いてきました。

学童のこども達やデイケアの人達の声が2階まで聞こえてきます。皆が元気が良すぎて、事務所がこわれそうな感じがするときもあります。2階で事務所をやっているながら、そんな声を聞きながら「皆、今日も元気であるんだな」と嬉しく思います。

2階でのPAGの仕事は派遣の依頼や、その請求事務をやっています。時々、アシスタントとの連携がうまくゆかず、失敗をやらす事もあります。そんな時、皆さんの理解の元に、なごやかに運べる事に心より感謝しております。

日頃、自分は感謝をしながら、「有り難う」という言葉がどっかに行ってしまう事が多いのですが、この感謝の気持ちは、皆さんからもらっているのだと、実感しております。この気持ちや、経験を少しずつ、ご報告させて頂きます。

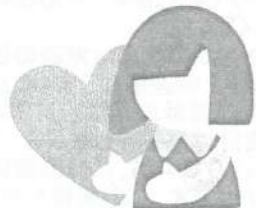
学童クラブきらきら

管理者 猪山 輝男

平成19年4月1日より、“学童クラブきらきら”が行田市の認可を受けるべく活動して参りましたが、平成19年8月7日付けで行子第133号として補助金交付決定の通知書を受けることができました。まずは関係者の皆様にご報告申し上げます。それとともに、“学童クラブきらきら”の運営に当たりご協力いただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。

“学童クラブきらきら”は学童クラブを必要とする保護者の皆様から信頼される施設として活動してまいりたいと思っておりますので、お気付きの点がありましたら、どんな事でも結構ですのご助言くださるようお願いもうしあげます。

現在、当クラブでは、10月より月1回の予定でリトミックを実施する計画をたてております。リトミックとは、大脳・心・身体に同時に刺激を与えることにより、大脳の活性化を図ることを目的としたものです。実施に当たっての詳細は後日ご連絡いたしますので、ふるってご参加ください。



ひこうせん新スタッフ紹介



沼能 宏之

初めまして！この度、5月から“ひこうせん”学童保育きらきらのアルバイトとして働くことになりました。新しい職場ですので、わからないこともあると思いますが全力でひこうせん成長を心に刻み頑張ってまいりたいと思います。宜しくお願いします。

山本 真由美

皆様こんにちは。G.W.少し前から、CILひこうせんのスタッフとしてお世話になっております、山本です。学童や派遣先の利用者の方から元気を頂き、諸先輩にも恵まれて、充実した日々を送っています。笑顔の輪が広がりますように願いつつ、これからも《さりげなく》頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

代 まさよ

ひこうせんでお世話になり4ヶ月が過ぎました。今まで経験のない仕事で初めはとても不安でした。しかし、この仕事を通して人間関係の難しさや、いかに奥の深い仕事である事、また、人との出会いの楽しさを知りました。まだまだ未熟の私ですが、これからもヘルパーとしての知識を高め、何事にも挑戦していきたいと思えます。そして、皆様とより良い人間関係が出来たらとても嬉しいと思えます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

中山 功一

6月よりアシスタントとして働かせて頂くことになりました。ようやく少し周りが見えてきたところです。わからないことが多く至らないこともありますが、一生懸命取り込んでいきますので宜しくお願いします。

岡安 勝美

6月からアルバイトとして働かせていただいています岡安勝美です。まだまだわからないことも多くありますが、皆さんに教わりながら勉強して頑張っていきたいと思えますので皆様、宜しくお願いします。

利用者からの一言

よろしくお願いします！

富田 有美子

こんにちは！この3月から、デイケア「こころ」で働くことになりました。富田有美子です。よろしくお願いします。

熊養出身の人が沢山いて、すぐに慣れて話が出来るようになりました。私は、今レスパイト輪で仕事をしています。電話の対応をしたり、指示書を作ったりしています。普段は、事務所の2階で仕事をしているので、デイケアの人達とは一緒にいることがありませんが、どんどん声をかけてください。たまには、一緒に仕事をしたいと思います。

仕事はもちろんですが、色々なイベントなどにも参加したりして行きたいと思っています。これから、みんなと仲良く色々な事を学んで行きたいと思っています。今まで、私は就職をした事もあり、障害者センターに行った事もあります。沢山の人の出会い、楽しい事やつらい事なども経験して、デイケアで働く事になりました。これからもみんなと一緒に頑張っていきたいと思っています。これからも宜しくお願いします。

よろしくお願いします！

大坪 清貴

変化を求めて、デイケア、ひこうせんに通わせて頂いています。今まで沢山の障害を持った人達と出逢って、ある程度知っている、理解していると思っていました。しかし、改めて現場で、別の角度から見る事が見られることもあって、正面から向き合う介助者、障害者との様々な問題、課題を知り驚かされる日々です。みんなの日々の努力、解り合おうとする姿勢など懸命に生きている様子を見て、私ももっと頑張らねばと思わされる今日この頃です。



People voice

大塚: 現在、どのような活動をしていますか？

野島: 埼玉障害者福祉ネットワークの代表として、県に要望書を提出し、交渉を行っています。(総合県交渉)。また、わらじの会のデイケア“バタパタ”の企画を担当しています。店番やチラシ配り等もしています。

大塚: 企画大変な事は？

野島: 皆が動くまでが大変です。話し合い(会議)が多くて頭が大きくなる。行動が伴わないです。が足りない事も悩みの1つです。

大塚: 企画をやってみて良かったなと思う事は？

野島: 大勢の人に協力してもらえた事です。さいたま市浦和区で年1回、「チンドンパレード」という催しをやっています。こういった運動は大切です。最近“運動”が少なくなっています。活動において難しい点ですが、事業ばかりではどうかと質問内容は適切と思われる順になおしていく。セーラー服の募集記事を書くかどうか鶴崎さんら企画の皆さんで検討してください。

大塚: 暮らしで不安な事は？

野島: 地震、火事等の災害ですね。逃げられない。このまま死んじゃうのかなって思います。

大塚: 一人暮らしをして良かった事は？

野島: 自由がある事です。安定すれば他の事も考えられる。《旦那さんの事も考えなくてよい(笑)》→書きますか？実際に仰った事です。ヘルパーさんもうなるかわからない

大塚: 障害者はどのように暮らしていけば良いと思いますか？

野島: なるべく外に出て、いろんな人に自分の生活を見てもらい、介助に入ってもらいます。多くの人と関わる事で制度が動きます。



野島久美子さん
埼玉障害者市民
ネットワーク代表

インタビューをしての感想は、今の時代には野島さんは、いなくてはならない存在だと改めて思いました。

あっと! キミコ



せまく、深く!
(個々人のニーズに応えられるひこうせんを)



齋藤 貴美子(副理事長)

一般的に、社会的な活動は、広く浅くと言われることが多いのですが、私はひこうせんにおいては、「せまく、深く」を心がけたいと考えています。本当は「広く、深く」が良いのですが、そこまでひこうせんの力はないし、できないことをやって全体が崩れてもいけないし、「広く、深く」はもっとしかるべき機関がやるべきことと思います。

今日、障害者を取り巻く施策は多岐に渡り、日常生活に必要な制度は、揃いつつあります。

ひこうせんでは、使える制度は有効に使って、障害者が自立生活を送れるよう支援しています。もちろん利用者のニーズに応えることが求められています。その全てに応えられる訳ではありませんが、応えられなくてはいいけないと肝に銘じるべきです。そして、具体的に確実に自立生活を送れる障害者を支援できなくてはいいけません。

私たちが生きている21世紀は、何もしなくても幸せになれる時代ではありません。幸せになるにはどうしたらいいのか、一人ひとりが真剣に考えなくてはならない時代を生きているのです。幸せになるには、幸せになるべくしてきちんと環境を整えながら、毎日を過ごさないといいけないのです。

どうしたら幸せになれるのか、私は、ひこうせんに集まってくるみなさんと共に考えて、みなさんとは、ひこうせんの各事業の利用者、アシスタントや職員として働いてくれている人たち全てを含めて、幸せになる方法を実践していきたいと考えています。どこまでも徹底的に、幸せになるために必要な方法を追求していく、そう考えていった時、ひこうせんに実際に関わっているひとたちの抱えている問題が解決できる、或いは、解決の手助けができるひこうせんを作っていきたいと思います。

これからも、さらに個々人の幸せを追求する意識的な事業展開を図っていききたいと思います。建設的なアドバイスやご意見をお待ちしています。

名前をつけて!



企画開発部からのお知らせ!

10月4日に念願の愛車を購入しました。

この愛車で今日からひこうせんの仕事(企画開発部の副部長として、光栄にも鶴崎部長の補佐役を拝命し今後のひこうせんのあり方を考えると言うとてつもなく責任重大の仕事)を本格的に始めていこうと思います。ただ仕事ばかりではなく少しだけ親孝行で母を連れて旅行などしたいと考えています。

尚、この愛車は見ての通り、僕のこだわりで車いすマークや四つ葉マークははずしてあります。その代わり熱狂的な巨人ファンなのでボンネット部分にはY.G.と言うマークがでかでかとはってあります。どうか皆さん僕同様にこの愛車も末永く使ってやってください。宜しくお願いします。

「この愛車」と書いたのは、皆さんに名前をつけて頂きたいと思っているからです。しかし、当然のことながら、名前の決定権は資金を出した僕にあります。



ひこうせんレター

第14号

「ひこうせん」と出会って

私は、現在五十二才です。生後二十日で脳性麻痺と診断され、余命二十才と宣告されました。お母ちゃんの脳裏にめづったものは、よく良い学校に入れ、良い会社に入社し、将来の幸せを心から願っていたのに、違ひありません。その後の母の苦しみは計りしれないものがありますが、あれから五十年の歳月が流れ私はこんなにも元気で、ひこうせんの仕事やさまざまな仕事を忙しゅうやっております。

色々な人とめぐり会いが人生を変えてくれたと思います。4年前に皆光園にいた時は、こんなに自由に生きるわたしを想像する事すらありませんでした。施設での生活は、4人部屋で規則が多く、テレビの音量や明かり等、すべて人の迷惑にならないかと、いつも気を遣う毎日でした。今の私はなんと幸せな日々を送っているのだらうとつくづく思います。これから人との出会いを大切にしていきたいと思っております。

田島 隆宏

事業部より

PAG・レスパイト輪の利用者、
アシスタントのみなさんへ

PAG・レスパイト輪では、利用者とアシスタント間で電話番号やメールアドレス等を双方で教え合うことは禁止していません。しかし、このことによって生じる事由については、ひこうせんは責任は負いかねません。お互いに、自己責任でお願いします。

有償運送アシスタント研修会

- ①11月18日(日)
14:00~16:00 (共生ゼミ)
- ②11月20日(火)
14:00~16:00

場所は、両日共にひこうせん事務所です。

PAGからのお知らせ
アシスタント講習会
～トロミの作り方～

日時: 11月18日
16時~17時
場所: ひこうせん
持ち物: タオル

※アシスタントの方には、講習料として 500円支給させていただきます。

参加を希望される方は、
PAGの鈴木まで連絡を下さい。

ラ・セーヌでの販売について

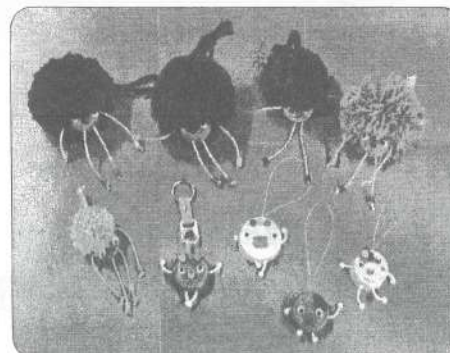
＜ラ・セーヌ販売のお知らせ＞

デイケアここでは、南河原にて週に1度、アートとクラフトの制作をしています。こうした手作りしたクラフト作品を6月にレストラン「ラ・セーヌ」で販売したところ、大変好評だったため、11月に再び販売させていただきますことになりました。今回は、クリスマスも近いことから、雰囲気いっぱいの作品をたくさん出品する予定。また前回、寄せ植えを楽しみにして来てくれたお客さんには、商品が足りずにご迷惑をかけてしまったことを反省し、今回はかわいい鉢で作ったミニ寄せ植えを出品しますので、楽しみてみてください。販売する商品は次のとおりです。お友だちもお誘いの上、お気軽に来店ください。

デイケアこころ クラフト班 高沢 紀子

＜予定している商品＞

各種キーホルダー、アフロくん(毛糸ボンボンのアクセサリー…ファン急増中!)、キャップくん(ペットボトルキャップで作った携帯ストラップ)、お花のメッセージボード、手作りクリスマスリース、ミニ寄せ植え、その他オシャレなクラフトがいっぱい。



連絡先

NPO法人 CILひこうせん

電話 048-555-1100
FAX 048-555-1301